

**「平成 29 年度版 あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況
(平成 28 年度年次報告書)」の概要**

愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、「あいち観光戦略」(平成 28 年度～平成 32 年度)に定められた観光振興に関する施策の実施状況について、県議会に報告するとともに、公表を行う。

第 1 数値目標の達成状況

計画最終年度(平成 32 年度)の目標として掲げた 6 指標(11 項目)に対する達成状況は、下表のとおりであった。

指 標	項 目	計 画 当 初	平 成 2 8 年 (実 績)	目 標 値 (平成 3 2 年)
来 県 者 数	全 体	3,817 万人 (平成 26 年)	4,506 万人	5,000 万人
	外国人	123 万人 (平成 26 年)	228 万人	400 万人
観 光 消 費 額	全 体	7,270 億円 (平成 26 年)	8,320 億円	1 兆円
	外国人	798 億円 (平成 26 年)	675 億円	2,500 億円
滞 在 日 数	全 体	1.29 泊 (平成 26 年)	1.28 泊	1.70 泊
	外国人	1.44 泊 (平成 26 年)	1.30 泊	2.00 泊
国際会議開催件数	—	179 件 (平成 26 年)	187 件 (平成 27 年)	200 件
満 足 度 (「非常に満足」の割合)	全 体	19.6% (平成 26 年)	21.7%	30.0%
	外国人	39.6% (平成 27 年)	40.8%	50.0%
観光地としての魅力度 (「魅力がある」の割合)	全 体	69.7% (平成 27 年 4-9 月)	74.9%	80.0%
	県 民	66.3% (平成 27 年 4-9 月)	71.4%	80.0%

第2 平成28年度の観光振興施策の実施状況（主なもの）

（1）戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化

アジア地域を対象にしたPR・プロモーションを中心に実施したほか、（一社）愛知県観光協会に補助金を交付し、愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、多言語での情報発信を行ってきた。

（2）戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進

本県らしいテーマ観光である武将観光及び産業観光の推進を中心に各種施策を実施してきた。武将観光では、11月に「ワールドサムライサミット2016」を開催したほか、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を活用して「武将のふるさと愛知」をPRした。また、産業観光では、「あいち航空ミュージアム」の整備事業に着手したほか、岐阜県とともに産業観光施設を巡るスタンプラリーやモニターツアーを実施し、回遊性の向上に取り組んだ。

（3）戦略Ⅳ MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進

MICEについては、名古屋市等とともに設置した「愛知・名古屋MICE推進協議会」を通じて、各種見本市や商談会に出展しMICE誘致に取り組んだほか、愛知県国際展示場の整備に着手した。また、スポーツ大会については、「ラグビーワールドカップ2019」や「東京オリンピック・パラリンピック」、「FIFAフットサルワールドカップ2020」、「第20回アジア競技大会」など、ワールドクラスの大会に係る事業・施策を推進したほか、「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」や「奥三河パワートレイル」、「アイアンマン70.3 セントレア知多半島ジャパン」、「新城ラリー」など、地域に根ざした大会の開催や開催支援を行った。

第3 平成29年度の主要な観光振興施策（主なもの）

（1）戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化

重点プロジェクトである「情報発信の充実・強化」に係る施策として、アジア3カ国・地域（韓国、台湾、タイ）を対象にした商談会の開催や、台湾における観光プロモーションの実施などに取り組んでいる。

（2）戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進

武将観光においては、引き続き、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」による「武将のふるさと愛知」の発信を行っているほか、11月には大高緑地で「サムライ・ニンジャフェスティバル」を開催することとしている。また、産業観光では、引き続き、岐阜県とともに産業観光施設を巡るスタンプラリーやモニターツアーに取り組んでいる。

あわせて、平成30年秋、JRグループとタイアップして実施する「デスティネーションキャンペーン」のプレキャンペーンとして、今年度は、全国の旅行会社を集め、本県の産業観光や武将観光をはじめとした観光魅力を訴求する「全国宣伝販売促進会議」を開催することとしている。